

(株) がくどう舎 放課後等デイサービス

木子里クエスト 活動方針

(埼玉県指定第1152500185号)

- ☆ 所在地 所沢市星の宮1-10-1
- ☆ 電話 04-2941-3054
- ☆ FAX 04-2941-3104
- ☆ 定員 10名



☆ 開設時間 (9:30~18:30)

月~金	放課後	~17:00	*下校時	学校→木子里クエスト	送迎
			17:00	木子里クエスト→自宅	送迎
長期休業日	11:00~17:00	*10:30頃		自宅→木子里クエスト	送迎
		17:00		木子里クエスト→自宅	送迎

☆ ごあいさつ

2014年8月に東狭山ヶ丘に開設した『木子里コパン』を星の宮に移転し、中高生を対象とした活動の充実に特化した『木子里クエスト』として2019年4月より再スタートします。ネーミングのとおり、子どもたち一人ひとりの可能性を探求していきたいと思ひます。これまでの活動と中高生プログラムで培った力を、『より主体的に』『より自発的に』発揮してもらえ環境を子どもたちと一緒につくっていきます。

社会に巣立つその日まで、自身の存在を肯定的に捉え、自分らしい生活をデザイン出来る力を育てていきます。
(取締役専務 高島明美)



☆ スタッフ体制 (2019年6月現在)

役職	氏名	資格経歴等
取締役専務 (管理者・保育士兼務)	高島 明美	保育士・中学校教諭免許・社会福祉主事任用ヘルパー2級・キャンプインストラクター 児童発達支援管理責任者研修修了 相談支援初任者研修修了 強度行動障害支援者養成研修終了 埼玉県発達障害支援専門研修アドバンス修了 放課後児童クラブ指導員(10年) 放課後等デイサービス児童指導員(6年)
児童発達管理責任者	菊池 宏美	介護福祉士・介護支援専門員 サービス管理責任者(就労・介護・地域生活) 児童発達支援管理責任者研修修了 相談支援初任者研修修了 強度行動障害支援者養成研修修了 埼玉県発達障害支援専門研修アドバンス修了 障害児学童・放課後等デイサービス指導員(15年) 障害者生活介護支援員(3年8ヶ月)
保育士	尾花 理奈	保育士・幼稚園教諭・児童厚生2級指導員 おもちゃインストラクター 放課後等デイサービス児童指導員(2年)
非常勤スタッフ	常時1～5名	<ul style="list-style-type: none"> * 強度行動障害支援者養成研修修了 1名 * 公立小学校特別支援教育支援員経験者 1名 * 放課後等デイサービス経験者 1名 (強度行動障害支援者養成研修修了) * 放課後児童指導員経験者 1名 * 新規採用 1名



1. 基本的な生活づくり

- ① 生活リズムを確立し、見通しを持って生活できるように援助していきます。
- ② 場面に応じたあいさつや困ったときなど自分の気持ちを伝えられるよう社会性が育つよう援助していきます。
- ③ みんなが気持ち良く過ごせるような環境づくりのために、身の回りの整理や遊具の片付けなどを通して、ものを大切にする心と身辺自立の力を育てます。

2. 健康・安全管理

- ① 環境整備に努め、子どもたちが安全かつ衛生的に過ごせるようにしていきます。
- ② 手洗い、うがい、衣類の調整、水分補給など声かけをし、健康管理をしていきます。
- ③ 子どもたちが自分の健康と安全を意識できるように働きかけます。

3. 一人ひとりの子どもへの援助と集団づくり

- ① 一人ひとりが主体的に、安心して自分らしく過ごせるよう援助していきます。
- ② 他者を意識し、仲間とともに成長できるように援助していきます。

4. あそび

- ① 一人ひとりの興味関心と五感を大切にし、楽しめるあそびを通して感覚統合を取り入れていきます。
- ③ 集団レクなどの課題あそびを通して、ルールを守ってあそぶ楽しさを伝え、他者と関係を築くために必要なコミュニケーション力を育てます。
- ④ 生活力につながる手仕事をあそびに取り入れ、正しい道具の使い方を伝え、しなやかな手を育てます。
- ⑤ 子どもたちの発達段階に応じた教材を工夫し準備していきます。

5. おやつ

- ① 木子里のおやつは、子どもたちに必要な捕食と捉え、手づくりを心がけていきます。
- ② 四季折々の旬の味や、年中行事を大切にし、食文化を伝えていきます。
- ③ 食に興味を抱けるように、食材や調理道具に触れる機会をつくっていきます。
- ④ 食べる時のマナーを大切にします。

6. 行事・とりくみ

- ① 一人ひとりの役割を見つけ、助け合いながら取り組めるようにしていきます。
- ② 非日常的な経験を通しての成長を促し、仲間とのつながりを大切にしていきます。

7. 保護者との連携

- ① 連絡帳を通して、子どもたちの様子を伝え合います。
- ② 通信『木子里クエスト』で子どもたちの様子をお伝えします。
- ② 保護者の要望に応じて、個人面談、グループ活動、親子レクなどを行います。

8. 学校・地域との連携

- ① 子どもたちの最善の利益のために、医療・福祉・教育・地域など、関係諸機関との連携を大切にしていきます。啓発事業

9. スタッフの学習

- ① 定期的に記録に基づく施設内カンファレンスを行います。
- ② 施設内学習会を行います。
- ③ 行政研修をはじめ、他団体主催の各種セミナーに積極的に参加します。 (2019年6月)